

はばたき



No.32

1992.7

神戸市立王子動物園

金絲猴の日中共同飼育研究

(一年間の長期飼育)

キンシコウ
金絲猴、もう皆さんはこの名前をご承知のことと思います。以前はイボハナザルとかコバナテングザルなどと、金色の毛色をした中国だけにしかすんでいないサルのイメージとかけはなれた名前と呼ばれていましたが、今ではキンシコウ又はゴールデンモンキーの方がよく知られています。金絲猴は中国国家一级保護動物として手厚く保護されており、外国で長期間、3カ月以上飼育展示されたことは、米国のサンディエゴ動物園以外では、まだ例がありません。

今回、動物園で5月13日から1年間飼育展示することができるようになりました。これは神戸市の友好都市である中国・天津市のお世話で特例的に中国政府の許可をいただきましたが、これまでにほぼ5年間の協議が続けられてきました。

金絲猴の中国国内の飼育状況は、動物園で40頭ぐらいと、今回、王子に来た金絲猴^{キンシコウ}壮壮12才(♂)体重15kg、雯雯12才(♀)8kgが飼育されている中国林業部に所属する北京瀕危動物馴養繁殖センターで28頭、その他飼育下のものを加えると100頭ぐらい飼育されています。

この繁殖センターでも毎年1頭ぐらいしか繁殖せず、飼育下で繁殖させることが大変困難な動物です。日中共同飼育研究のメインテーマは、飼育下での繁殖をめざすため、①一年を通じての雌の尿中ホルモンの状況を正確に調査すること。②飼育下での栄養採取量と栄養のバランスを最適にするための、桑や唐ねずの栄養分析と一日給与飼料の消化吸收を分析すること。③広い放飼場(300m²)での行動調査を行います。この共同研究のために北京瀕危動物馴養繁殖センターから、戚 漢君さん(獣医師 副総経理)と 鮑 文永さん(飼食係)、天津動物園の高建国さん(飼育係)の3人の中国の金絲猴専門家をお招きして王子の職員と毎日、和気あいあいと作業しています。(写真)



共同飼育風景



キンシコウの話をする戚 漢君さん

(飼料) 野生の金絲猴は木の葉を主食としていますが、一年を通じて新鮮な木の葉を与えなければなりません。樹種としては中国の動物園でどの木の葉をよく食べるか嗜好調査がされていますので、これを参考にして、又、1985年に神戸で開かれた都市緑化博で3ヶ月間、天

もくじ

ページ

1. 金絲猴の日中共同飼育研究②
2. オーストラリアの動物園を訪ねて④
3. 動物育児日記⑥
 - 1) フラミンゴの子育て⑥
 - 2) カカバの保育⑦
4. 夏はこれにかぎる⑧
5. 飼育うらばなし⑩
 - 1) チンパンジー新居へ移動⑩
 - 2) コアラの飼育⑪
6. 動物なぜなぜ問答⑫
 - 1) どうして血は赤いのですか?⑫
 - 2) 動物にも血液型はありますか?⑫
7. 新人です。よろしく!!⑬
8. 動物科学資料館の手引⑩⑭
9. トピックス⑮

表紙写真 キンシコウ

写真撮影 谷岡 正之

| | |
|-----|--------------------------|
| 英名 | Golden Monkey |
| 学名 | Rhinopithecus roxellanae |
| 生息地 | 中国 |

津動物園から来ました金糸猴を共同飼育をした経験がありましたので、この頃から園内に植樹していた、唐ねず、榆、柳、も十分確保できるようにしておりました。しかし夏場の主食である桑の確保にはずい分苦労しました。といいますのは、養蚕のため大量に桑を栽培している農家が減少し、又、農家の方の高齢化が進み、当園の必要量を出荷していただく農家を見つけるのに少々あわてましたが、兵庫県の北部養父郡の1ヘクタールの桑畑を持つ農家から毎週2回送っていただけるようになりました。

5月13日、王子の金糸猴舎に収容し、すぐに新鮮な桑の葉を与えたところ、おいしそうにパクパク食べてくれたのを見て、全員から、「あーよかった。」との声があがりました。



放養式動物舎前

金糸猴舎は王子動物園のほぼ中央にあります放養式動物舎（チンパンジー、オランウータン、フクロテナガザルなどを展示している）の一部です。運動場は300㎡で地面は芝生が青々と育ち、背部には、榆や桜や竹などが繁り、六甲山の山並が見える広々としたもので、その中に高さ6mの杉丸太を組みたてた遊び場があります。観覧通路からは大きなガラス窓越しに、壮壮と嚶嚶がお互いにグルーミングをしたり、飛び回る姿を間近に見ることができます。

寝室部は3部屋あり、その一つは厚さ3cmの安全なあわせガラスで仕切られた30㎡の室内展示場があります。ここではすぐ目の前で美しい壮壮と嚶嚶のしぐさが見られます。又、その横にはグラウンドと同じレベルのところから見られる大きなガラス窓があり、そこからも運動場にいる金糸猴が見ることができます。ときどきガラス窓に嚶嚶が顔を押しつけて、こちらの様子を伺っている可愛い姿も見ることができます。

（室内展示場）寝室共に床暖房があり、各室には空調機が設けられていますので、暑さに弱い金糸猴のために夏場は外気温より少し涼しめの温度として、日中は室内展示室に入れて、体調をくずさないように飼育することができます。

最後に金糸猴とはどのようなサルか少しお話



金糸猴舎前観覧通路

しをしましょう。

中国の古書である、「山海経」や「本草綱目」には金糸猴のことを「果然」として紹介されており、清代の高級官吏の戴物や衣類、敷物として金色の美しい毛皮が利用されていました。又関節炎の特効薬として知られていたため乱獲されて数が少なくなったといわれています。

中国以外の国々に紹介したのはジャイアントパンダやシフノウを世界に紹介したフランスの宣教師ダウイト神父です。彼は四川省の山奥に行き1865年5月4日に金糸猴を捕え、標本にして1870年にパリの博物館で展示して知られるようになりました。

動物には学名がラテン語で付けられています。金糸猴は動物学者ミルヌ・エドワードが

Rhinopithecus roxellanae と付けました。

鼻の サル ロクセラーヌ

これは鼻が上を向いていることと、金色の毛に強く印象付けられ、オスマントルコ帝国のシュレイマン一世の夫人であるロクセラーヌの肖像画に似ていることから、彼女の名前を入れ、新種のサルとして命名したのです。

霊長目の分類では真猿亜目のオナガサル上科に属し、テングザルやルトン、ラングールと呼ばれるグループに属し、日本ザルのようにほぼ袋がなく、その代りに本来の胃の前にもう一つ食物をたくわえる胃を持っています。

王子に来ている金糸猴は甘肅省、四川省からチベットにかけて陝西省南部の海拔2,000~3,500mの高山地帯に群れをなして暮らしています。

この他、黒金糸猴（滇金糸猴）と呼ばれ尾と肩から背中にかけて黒く、四肢の内側の毛が白い、雲南省に住むものと、灰金糸猴（黔金糸猴）と呼ばれる、体はやや小さいが尾は長く、口びるのふくれも小さくて、頭の頂上の毛は黒く背中の中も灰色がかり、肩が白っぽい色のものと、亜種がいますが、くわしい生態はあまり知られていないようです。

（権藤真禎）

オーストラリアの動物園を訪ねて

今年4月4日から10日までの1週間、オーストラリアのカランビンで世界野生動物保護会議に参加した機会にオーストラリアの動物園を見てきましたので、その中から代表的な動物園2カ所を紹介します。

★カランビン保護区（野鳥園）



この保護区は王子動物園と友好関係にあり、コアラを寄贈して頂いた動物園で、自然保護機関であるクイーンズランド州ナショナル・トラストが運営管理し、野生動物の保護活動を主な業務とする保護区ですが、一般にも開放しています。

オーストラリアの観光保養地のゴールドコーストの南端にあり、観光コースに指定され、多くの日本人が訪れます。道路に面したゲートはガラス張りで一見レストランのように見えますが、入ってすぐの洞窟を通り抜けると広々とした園内に導かれます。この保護区の最大の呼び物は「ローリーキート」とよばれる色鮮やかな野生の中型インコの餌づけで、午前8時と午後4時の2回にそれぞれ約1時間、一般の入園者が餌づけを楽しむことができます。パンくずと蜂蜜の入ったアルミの皿を頭の上に差し出すと野生のローリーキートが一斉に寄ってきて皿に群がり、頭や肩にも止まり、その数は2～3千羽で、まさに壮観です。

この保護区は高速道路を挟んで2つのエリアに分れ、総面積は約28ヘクタール余り、2つのエリアを石炭を焚いて走るミニSLで結び、無料に乗ることができます。園内は自然の樹林の中に池、川、芝生広場などとそれにマッチした素朴な動物舎を上手に配置し、自然環境のふん囲気を再現しています。

別名「野鳥園」といわれるだけに、美しい各種のインコ類をはじめ、いろいろな珍しい鳥類



ヘビのタッチング



カランビン保護区のゲート



ローリーキートの餌づけ

のほか、コアラ、ウォンバット、カンガルー類、ディンゴなどの哺乳類からは虫類、昆虫に至るまで様々な動物を自然環境の中で飼育しています。また、広々とした園内にはペリカン、水鳥類、サギ類が放し飼いにされ、広大なカンガルーの放飼場には人も中に入ってふれあうこともできます。

この保護区のもう一つの特徴は野生動物の保護に力を注いでいることです。傷ついたり弱っ

た野生動物を保護し、動物病院で手厚い看護をして元気になれば野生に戻すことをしています。私が訪れた時も、交通事故であごを骨折し、手術をうけて入院中のコアラや母親を失ったため手製の袋の中で人工的に育てられているカンガルーの子どもがいました。また、教育活動にも積極的で、園内にある教育センターでは子供を集めて校外学習を開催するなど教育普及活動にも力を注いでいます。

★タロンガ動物園



シドニーの中心市街地からポート・ジャクソン湾を挟んで対岸の岬にオーストラリア最大のタロンガ動物園があります。1916年に設立された歴史の古い動物園で、約800

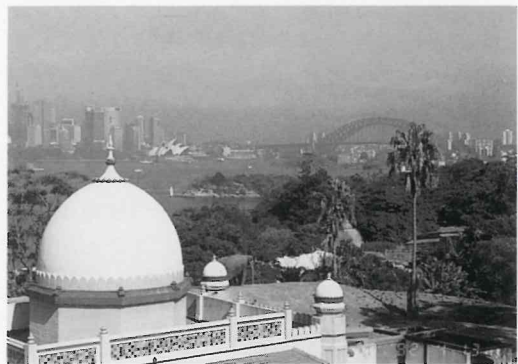
種類4,000点の世界の動物が飼育されています。丘陵地の斜面を巧みに利用し、園内のどこからも有名なオペラハウス、ハーバーブリッジやシドニー市街が一望できるすばらしい環境にあります。

この動物園に行くには30分毎に出るフェリーで約15分乗り、そこから専用のバスかロープウェイで山頂のゲートから入ります。斜面を階段状にうまく配置された動物舎を下りながら動物を見て回ります。コアラ、カモノハシ、ディンゴなどオーストラリアの動物のほかにアジアゾウ、キリン、サイ、トラ、ライオン、アシカなどのほ乳動物、各種の鳥類・は虫類から魚類に至るまで世界の動物が集められています。

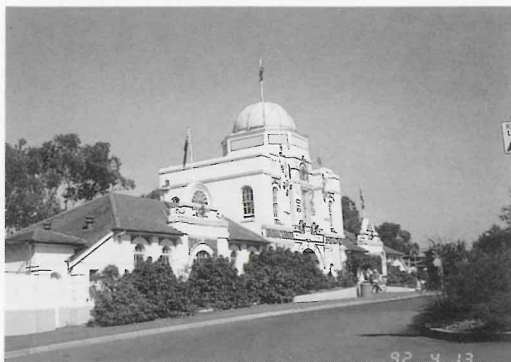
タロンガ動物園の特徴として、ほとんどの動物が放養式の動物舎で飼育されており、施設は

木を使った素朴なものです。放養場は広く岩や樹木、草などをふんだんに取り入れ自然の環境を再現していることです。また教育普及活動も活発で、動物園シアターでは動物の持つ機能や習性などを分かりやすく説明するために楽しいアシカショーを行っています。そのほか、園内には至るところに動物の説明や自然保護を訴える案内板があり、楽しく分かりやすく解説しているのが見られました。

(谷岡正之)



すばらしい眺めのゾウ舎



タロンガ動物園正面ゲート



ロープウェイから見る園内

動物育児日記

フラミンゴの子育て

当園で、フラミンゴが自然繁殖するようになって、今年で10年目となりました。“神戸っ子フラミンゴ”も200羽を超えました。

フラミンゴの子育てを見ていると色々とおもしろい光景を見ることができます。

まず、巣が他の鳥と違い、土を盛り上げて植木鉢をふせたような高さ30cm～40cm位の巣を作り、その上にニワトリの卵の3倍近くもある白色の卵を1個産みます。感心するのは、あの脚の長いフラミンゴが上手に巣の上に卵を産むことです。巣の直径よりも長い体がありながら、確実に巣の上に産むのです。今までに多くの産卵を見ていますが、産卵時に他のフラミンゴに邪魔をされないかぎり、巣から落としてしまったのを見たことがありません。

雌雄交代で28日間温めると、ヒナが誕生します。ヒナは巣の上で1週間～10日位いますが、生後3日もたつと、もう片足で立つ練習です。しかし、まだまだ親のようにうまくいかず、よろけてはあわてて座っています。親からもらう餌は食道の一部が膨らんでいる所（嗦のう）から分泌される液体です。これは、フラミンゴミルクと呼んでいます。皆さんの知っているハトの仲間もこの方法です。ときには、親が隣りとケンカを始めると大変です。ヒナは、親に踏みつけられたり、蹴飛ばされて巣の上から落ちることがあります。さあー！それからが一苦労です。自分で巣の上に登らなくてははいけません。なにしろ巣の上まではヒナの背の2～3倍位あ

ります。くちばし・足・手羽と全身を使ってよじ登ろうとしますが、なかなかうまくいきません。少し登ったかな、と思えばずり落ちます。親は盛んに鳴いています。ヒナも必死です。そのうち巣の周りを回って、でこぼこして足がひっかかる所を見つけてようやく登り終えます。これでひと安心です。

やがて、ヒナの足も丈夫になると、いよいよ両親と共に巣を離れて、群れの仲間がいるプールに行かなくてはなりません。これが、また大変です。この時は、両親が絶えずヒナのそばにいて守っていますが、なにしろ巣と巣の間を通って行かなくてははいけません。左右から他の大人達から突かれながら、ようやくプールへと出ていきます。ここは、広々としていますから、プール内をあっちこっちと動き回って、すくすくと大きくなっていきます。生後3週間目位から一人歩きが目立ちはじめます。この頃には、足も丈夫になっており、もうりっぱに片足で立つて寝ることもできます。ヒナ同志が集まるようになるのもこの頃です。多数のヒナが、集まっている様子はまるで保育所です。

生後1ヵ月目頃から、ようやく自分で餌を食べはじめますが、まだまだ親からも、液体の餌をもらいます。この時には、親の所に行って盛んに鳴いておねだりをします。そうすると、親も鳴きながら応えて餌を与えます。多数いる仲間の中から親子が出会うためには、鳴き声が大切なのです。親は、卵がふ化する直前から、ヒナの鳴き声を覚えており、またヒナも親の鳴き声を覚えるのです。こうして親子の強いきずなができるのです。

秋頃になると、体の大きさもりっぱな大人の大きさになって、餌も自分で食べています。中には、あまえん坊がまだ親から餌をもらおうと盛んに鳴いて、親を追いかけしています。親も、「もうあげないよ」と言わんばかりに、逃げまわっている光景を、皆さんも見ることができるかもしれません。



(吉竹 渡)

カカバの保育

果下馬は中国・広西チワン族自治区に生息しているポニーの一種で、昭和59年に友好動物として天津動物園から贈られました。

今年の3月6日の朝、私たちが獣舎に入っていると女の子の赤ちゃんが生まれていました。このときはすでに自分の力で立ち、体はほとんど乾いている状態でしたので生まれて何時間かたっていたのでしょう。名前は「ランラン」と名づけました。生まれたときの体重は16kgで、今ではもう45kgになり、すくすくと育っています。

ランランも大きくなったので母親のシャンシャンと一緒に朝、開園前の園内を散歩しています。いきなりみなさんの前に出てしまうと、いくら母親がそばにいても興奮してしまうので、よく慣れたところでみなさんに直接、目の前でさわってもらえたらと思っています。朝、散歩のときのランランは本当に楽しそうに見えます。最初のころは、やっぱり初めて見る風景ばかりだったので、いつも緊張して少しの音などでもびっくりしてしまい、すぐにシャンシャンの陰に隠れたりしていました。それが、今ではかなり落ち着いてシャンシャンの歩調に合わせてゆうゆうと散歩を楽しんでいます。少しでも広場があるとシャンシャンや私たちより先の方まで走って行き、まるで踊っているかのようにしゃべっています。かと思えば「ハッ」と我にかえり、近くにシャンシャンがいないことに気付

いて、鳴きながらシャンシャンのところまで慌てて帰って来ます。まだまだお母さんに甘えん坊なランランですが、私たちは日ごとに成長していくランランを見ていると、「早くお客さんにも慣れてこんなに楽しそうに遊び回っている姿を見てもらえたら」と思っています。

今は、お父さんのチーチーとは別々にしています。シャンシャンに落ち着いて育児に専念してもらうためには、チーチーにはかわいそうですが、がまんしてもらっています。もし同居させていると、子供を守るために雄が雌に攻撃される恐れがあるためです。だから今だけ、ランランとシャンシャンはロバのナミと3頭で外の牧柵内で展示しています。最初の頃は、ナミがランランに近づいていくとシャンシャンが怒り、離れさせ近づかないようにしていたのですが、今ではランランとナミは仲が良く、朝のうちは2頭一緒になって走り回ったり、午後になるとナミは立ったままで、ランランは砂場に横になって昼寝をしています。でも、その近くには必ずと言っていいほど母親のシャンシャンが、見守るようにいます。このままランランが順調に成育すれば、今年の秋までには父親のチーチーのもとに戻して、家族3頭の生活が始まることとなります。

みなさんも一度このかわいい果下馬の子供を、見に来てください。

(築部恵理子)



夏はこれ

動物たちの



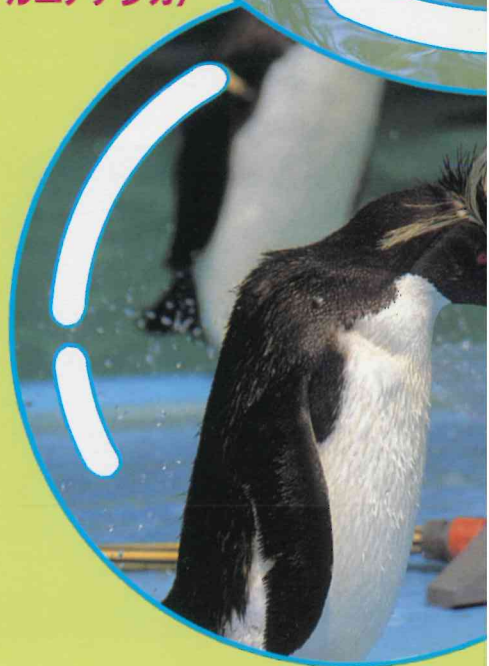
六甲の水は冷たいでー (カバ)



水面の墨寝はいかが
(カリフォルニアアシカ)

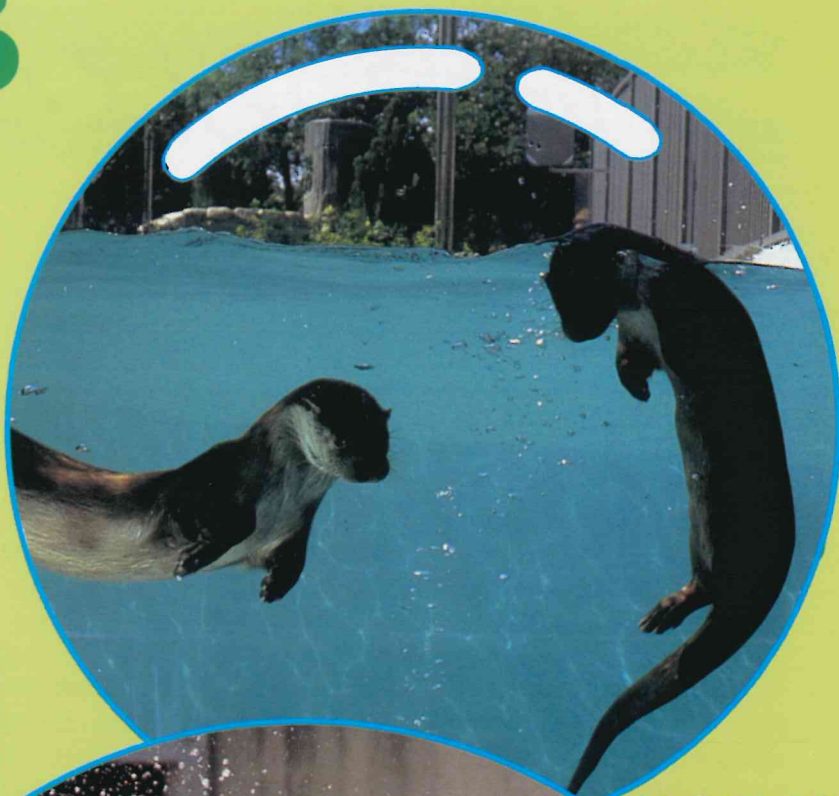


水球遊びやろーよ (ホッキョクグマ)



にかぎる

夏バテ防止法



シンクロナイズド
スイミングだよ
(ヨーロッパ
カワウソ)



シャワーを浴びよーと
(イワトビペンギン)

消防ポンプより
強力だゾー (インドゾウ)

飼育うらばなし

チンパンジー新居へ移動

現在王子動物園で飼育しているチンパンジーは全部で5頭、内訳は雄1頭（ジョニー、48才）雌4頭（リリー、37才、チェリー、28才、ユキ、25才、リノ、12才）です。これら5頭のチンパンジー達が5月6日に長年住み慣れた鉄オリの獣舎からこれまでトラ、ライオンを放飼していた放養式動物舎へ移動しました。

王子動物園では、昨年秋よりこれまでトラ、ライオンを放飼していた放養式猛獣舎を改修して、大型類人猿であるゴリラ、チンパンジーの飼育、繁殖を目的とした施設を造りました。その一番手として5月6日に5頭のチンパンジー達がこの新居に引越しました。新居は個室が5部屋と展示用の部屋が1つで、各部屋ごとに空調設備と床暖房付きで、おまけにと言うより今度の新居のメインである約1000㎡の庭付きです。これだけの豪邸を神戸市内に持てるチンパンジーにあやかりたいものです。

ところで、今回の引越しには克服しなければならない色々な問題がありました。その中でも次の3点が挙げられます。

まず第一に、放飼場がオープンスペース（屋根なし）であるため、脱走しないかどうかの問題でした。これを避けるために壁にはできるだけ突起物がないようにし、さらに壁面に近づかないように電気牧柵を張りました。電気牧柵は触れると感電するため動物が近寄らなくなるというもので、少し考えると残酷な気もしますが、感電すると言ってもそれほど強力ではないため少し不快感を感じる程度です。5頭のチンパンジーはそれぞれ1～数回触わり、近づいてはいけないうのだと学習したようで、現在のところ脱走をたくらんでいる個体はない様子です。あとはスティーブマックイーン主演映画「大脱走」のようにチンパンジー達が協力してトンネルを掘らないように祈るだけです。

次に問題になったのは、一度広い放飼場に出たチンパンジーが再び寝室内に入ってくれるかどうかでした。今まで狭いオリに入れられていたチンパンジー達はさぞかし開放的な気分にな

ったことだろうと私自身は思いましたが、そこは飼育係の島田さんとの信頼関係でしょうか。ほぼ問題なく寝室内に収容することができています。ただチェリーは一度遅くまで夜遊びをしていたことがありますが…。

最後に残った問題は、これまで一緒にしたことのないチンパンジー達（個々は一緒になったことがあるため、一応の面識はありますが）が一緒になった場合どうなるかということでした。これには大変興味があり、島田さんが観察中です。現在、王子動物園で飼育しているチンパンジーファミリーは、ジョニーとチェリーの間に親子関係があるだけで、他は互いに非血縁です。現在のところ非血縁同志ではだいたいの挨拶が終わり問題なく過ごしているようです。あとはジョニーとチェリーの間です。父系社会をつくると言われているチンパンジーの父親が娘を認知するのでしょうか。

（浜 夏樹）



チンパンジー放飼場

コアラの飼育

昨年9月12日に王子動物園にも待望のコアラ3頭が、オーストラリアのカランビンサンクチュアリーから来園しました。コアラは、当園のクイーンズランド亜種、ニューサウスウェールズ亜種、ビクトリア亜種の3亜種に分かれています。

当園に来た3頭の名前と性別、年齢は、エム・ジー・ジュニア（♂、2歳）、マディー（♀、2歳）、ジェンマ（♀、3歳）です。コアラが来園して、やっと8ヵ月が過ぎました。この間に、私達がコアラから学んだことについて、お話ししようと思います。

飼料

コアラは、ユーカリの葉だけを食べる動物であるため、当園では、鹿児島（内之浦）と岡山（玉野市、牛窓町）、三重、神戸市内でユーカリの栽培を行っています。ユーカリは、約300種あるといわれていますが、コアラが食べるのは50～60種で、このうち当園のコアラの主食となるのは、5種類（テレチコルニス、カマルドレンシス、ミクロコリス、ロプスター、ピンクタータ）です。この5種類のユーカリに対するコアラの好みは、頻繁に変化しています。このため、毎日、食べた量を測定し、現在コアラがどのユーカリを好んでいるのかを調べ、この結果によって与える品種を決定しています。

1日1頭あたりの採食量は、約400gで、枝先の柔らかい新芽だけを食べています。（枝先から約15cm）

ちなみにユーカリを食べるのは、コアラの他にオポッサムの1種だけです。ユーカリの葉には毒性油（シオネール）が含まれており、他の動物が多量に食べると中毒をおこしますが、コ

アラの肝臓はこれを分解、消化することができるので中毒をおこすことなく食べることができるのです。

飲水

コアラは、ほとんど水を飲みません。当園でも、水を飲んでいるところは全く見たことがありません。なぜ水を飲まないかということコアラは、ユーカリの葉を食べるだけで十分な水分を摂取しているからです。ただし、全く飲まないのではなく、病気のものや育児中（授乳中）のものが飲むことは報告されています。また、十分な水分を摂取できなかつたときには、糞中の水分を減らしたり、尿を濃くしたりして体内の水分を調節しているそうです。

行動

コアラは夜行性の動物なので、昼間はあまり動きません。しかし、午後1時の餌の取り替え時には、食事や止まり木間の移動などがよく見られるのでコアラ見学には最も適した時間帯といえます。

繁殖

本年3月29日と4月12日にマディーとジェンマに交尾が確認されました。これで妊娠していれば、もうすぐコアラの赤ちゃんが誕生します。生まれたばかりの子は、1～2gと非常に小さいものです。子が袋から出はじめるのは6ヵ月後ですから、今年の11月ごろになれば見られるかも知れません。楽しみにしててください。

おわりに

日本では、8園でコアラが飼育されており、近畿地方では、天王寺動植物公園、淡路ファームパーク、それに当園の3園となります。このうち、大阪と淡路では、ビクトリア亜種を飼育しているので、当園のクイーンズランド亜種とどこが異なっているのか比較してご覧になられると面白いと思います。（兼光秀泰）



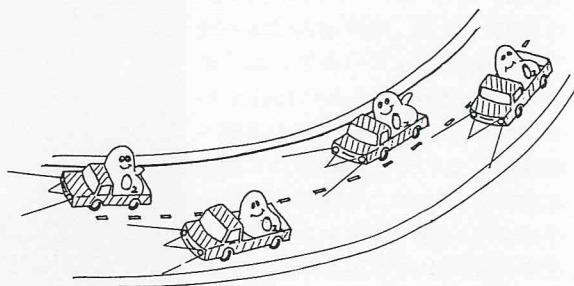
— 動物 ^{なぜ} _{なぜ} 問答 —

どうして血は赤いのですか？

わたしたち動物の血液は、どうして赤いのでしょうか？それは血液の中に、ヘモグロビンという鉄を含んだ赤い物質（タンパク質）が含まれているからです。ヘモグロビンは空気中の酸素を体のすみずみまで運ぶ働きをしています。酸素は呼吸によって肺で血液中のヘモグロビンと結合して体のすみずみまで運ばれます。ですから、ヘモグロビンは酸素を運ぶトラックだと言えます。わたしたちの体の中には酸素を運ぶトラックがもうひとつあります。それは筋肉中のミオグロビンで筋肉が赤いのはそのためです。ヘモグロビンは酸素を運ぶトラックですから、酸素を積み込むだけでなく、降ろさなければなりません。スポーツで筋肉を激しく動かすと筋肉中に乳酸ができpH（ペーハー：酸性、アルカリ性を示す基準）が下がり、また体温も上がります。するとヘモグロビンは酸素をたくさん降ろします。本当に賢いトラックです。

動物の中には、赤い血液でなく、青い血液を持っているものもいます。それらは、ヘモグロビンではなくヘモシアニン（銅を含んでいる）という酸素運搬トラックを持っている一部の昆虫類やタコ、イカのような仲間です。

（安田伸二）



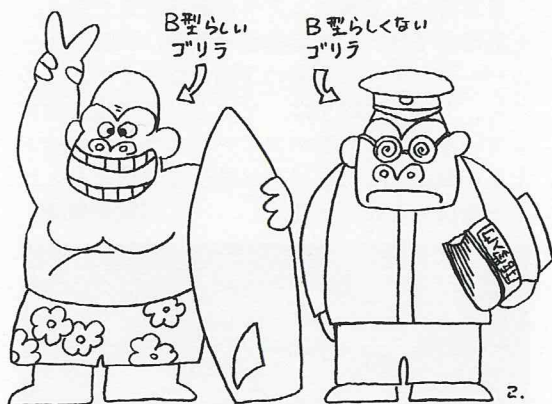
動物にも血液型はありますか？

血液型は、赤血球の細胞表面にある、特殊な物質の違いを調べたものです。血液型の中でも、ヒトのABO式分類はよく知られ、性格占いでもおなじみです。このABO式以外にも、いろいろな分類方法があり、検査方法を変えれば、動物の血液型も調べることができます。ヤギの血液型は、ABO式血液型よりも早く発見されたそうです。

身近な動物の血液型としては、ウシで90種類以上のものが分っており、ブタでも8種類ほどの検査法があります。人間に近いサル仲間では、ヒトの検査法を使って血液型を調べることが多いようです。チンパンジーではA型の割合が多く、O型が少ないということが分っています。

ところで、ゴリラの血液型はすべてB型だそうです。血液型による性格判断では、世界中のゴリラがみんな一緒の性格、ということになるのでしょうか？

（村田浩一）



新人です。よろしく!!



自分の夢

はじめまして、5月1日付で土木局王子動物園に配属になりました、石川康司です。小さい頃から生き物が好きで、犬、鳥、魚、両生・虫類と、なんでも飼いました。好きなことをして生活できるなんて最高と思いませんか。人に動物を見てもらうことが大切なことですが、僕としては自分が納得するためにこの道に入りました。動物にどれだけのことをしてやれるか分からないのですが、動物に聞きながらBestの状態での飼育していきたいと思います。

(石川康司)



新米飼育員の挑戦

大きな希望に胸を踊らせフィールドを歩き始めました。飼育経験がない私にとって、今実践していること、それは一方通行だけれども動物達とコミュニケーションを図り、信頼を得るため色々な方法を工夫すること。

そして動物達に愛情をいっぱい注ぎ、新米から一人前へ、一人前からスペシャリストへ、マイペースながら一步一步着実に進歩させていくことだと思います。

素晴らしい先輩や同期のもと、努力を惜しまず精一杯頑張っていく所存です。

(中筋功二)



私の王子動物園

「王子動物園」それは私にとって憧れの場所であると共に手の届かない職場であると思いついてきた。いつも王子動物園に行った時には、外からしか眺めることができなかった動物を今では、自分がカギを持ち、自分で飼育できるようになった。

現在の日本社会で自分の夢が叶えられる人間が何人いるだろうと考えると、私は本当に幸せだと思う。念願の飼育係になれた今、私は動物の気持ちの分かる、知識ある飼育係になることを目標に頑張りたい。

(小川高志)



夢、かなって……

平成4年5月1日、この日23回目の誕生日を迎えた私にとって一生忘れられない日となりました。幼い頃から、動物を飼育することが好きだった私は、いつかは、動物園の飼育係になりたいと思うようになりました。そして今、王子動物園の動物飼育手として採用になり、その夢が実現しました。はじめて獣舎に入った時の感動は今でも忘れられません。これからも初心を忘れずに動物たちのことをもっと勉強し、一生懸命がんばりたいと思います。

(本田純也)



王子動物園に来てから

知識も経験もない僕にとって、興味だけでやっていけるのだろうか、本当に不安でした。でも、やる気は十分あったし、これしかないと思い、挑戦してみようと思いました。

王子動物園に来てからもう1ヵ月になりますが、まだまだわからないことばかりで、先輩方にいろいろ教えてもらい、がんばっていく決意です。ので、よろしくをお願いします。

(坂本健輔)

動物科学資料館の手引 ⑪

～楽しく見るために～



◆動物と人間

今回で資料館の常設展示の解説も大詰めになってきました。展示の締めくくりとして、ここで動物とこの地球で生きていくために、私たち人間が何をすべきか、自然保護はなぜ大切かを考えてみましょう。

1. 動物とともに暮らす人々

都会で暮らす者にとって、「動物とともに暮らす」というと、ペットしか頭に浮かばないかもしれませんが、この地球上には、狩猟民や牧畜民のように、生活の中で密接に動物と関わりをもって暮らしている人がいます。ここでは「狩猟民の暮らし」「牧畜民の暮らし」「人間と家畜の関わり」を3枚のパネルによって説明しています。アザラシやトナカイなどの野生動物を狩るエスキモー（イヌイット）の生活や、家畜を飼いながら季節的に移動する遊牧民の生活などを紹介しています。

2. 野生動物の保護

(1) 絶滅のおそれのある動物ラベル

今、絶滅のおそれのある動物は何種類ぐらいあるかご存じですか。動物ラベルが山積みになされたガラスケースをご覧ください。このラベルは960枚ぐらいあり、動物園の大スター



「ジャイアントパンダ」をはじめ、たくさんの動物たちが、今、危機にさらされていることを表わしています。また、日本ではもう減ってしまったといわれるニホンオオカミや野生のトキについてもパネルで紹介しています。

(2) 密輸の現状

このように数が減ってしまった動物たちを保護するものに、ワシントン条約があります。この条約に定められた動植物やその加工品は自由に輸出入できないようになっています。税関では、密輸や知らずに海外からこれらの動植物や加工品を持ち込む人のチェックを行って、稀少野生動物の保護に役買っています。そのようすをパネルで紹介しています。



3. エコロジーバランス

常設展示の終わりに、文明と自然をてんびんにかけてみました。「なぜ傾いているのだろうか？」という問いに答えられるでしょうか。このエコロジーバランスは、展示の締めくくりとして、傾いた文明と自然のバランスをシンボリ化しました。文明に比重がかかりすぎて、自然界に赤信号が点滅しています。このままでは、自然界のバランスはますます崩れ、私達人間も絶滅への道をたどるかもしれません。このバランスは一人ひとりの心がけによって、正しく保てるはずですが、私たち地球に生きる生物の一員だということを自覚し、互いに滅びることのない環境づくりを考えるべきです。この数百年の間に、我々人間のせいで滅びていった動物たちのためにも、私たち人間は動物たちを守るために、あらゆる努力をしなければならないと思いませんか。

(安宅範子)

トピックス

(平成4年3月～6月)

◆春の催し物

- 春休み動物映画大会(3月25日～31日)
動物のアニメや映画を1日6本上映し、7日間で2,295名のお客さんにぎわいました。
- 『旧ハンター住宅』春の内部公開(4月1日～30日)
神戸の異人館の中でも最大級の建物である「旧ハンター住宅」の内部公開を行い、13,151名の入館者がありました。

◆特別展「みんなで守ろう! 野生動物」

～貴重な野生動植物を保護するワシントン条約～ ——神戸税関展——

ワシントン条約に関する国際取引の規制内容、動物を殺して利用している加工品、ワシントン条約と税関の役割、動物園のかかわりなどを写真、解説パネル、違法に持ち込まれた剥製、加工品等を展示して分かりやすく説明しました。この他、税関業務をパネルやアニメーションビデオを使って紹介しました。(3月20日～4月21日)



◆おもしろ動物写真館 PART5 (4月29日～5月19日)

今回は、昨年やって来たコアラの写真を加え、おもしろい顔の写真や微笑ましい親子の動物たちの写真パネルを40点展示しました。

◆中国の珍獣『金絲猴』が来園

中国の珍獣の金絲猴を1年間にわたって借り受けて神戸市、神戸市の友好都市である天津市、中国野生動物保護協会の三者による共同研究をするため、5月13日に中国・北京瀕危動物馴養繁殖センターからやって来ました。また、来園を記念して「金絲猴歓迎開幕式」を5月22日に行いました。



金絲猴歓迎開幕式



◆特別展「中国の野生動物たち」

金絲猴の故郷である中国の野生動物について、約70点のパネルや12点の剥製を展示して説明しました。中国の地図を寒温帯から熱帯まで7つのブロックに分けて、各地域に住む動物を写真で示し、中国の広大さを伝えるパネルのほか、ショーケース内には、体長2mを超えるアムールトラの剥製、かわいらしいレッサーパンダの剥製などを展示しました。(5月21日～8月31日)

◆朝鮮民主主義人民共和国から友好動物が来園(6月2日)

朝鮮民主主義人民共和国・平壤市中央動物園から友好動物としてコウライキジ、ヤツガシラ、アカツクシガモ、オシドリを贈られました。これは、平成3年10月に当園が友好動物として贈ったカンガルーの交換動物として贈られたものです。

◆動物を計る会開催(6月7日)

計量記念日にちなんで開催しました。今回の計量動物は、カカバ(小型の馬)の親子で、合計体重を入園者やはがきの応募により当ててもらいました。結果は、183kgで、ぴったり正解だった方が、応募者2,041名のうち8名もおられました。



◆新しい仲間たち…春から夏にかけて新しい仲間が誕生しました。

- ワオキツネザル、カカバ、アカエリマキツネザル(3月)
- マール、エミュー、ヨーロツパフラミンゴ、混血(ヨーロツパ+ベニイロ)フラミンゴ(4月)
- ヨーロツパフラミンゴ、ベニイロフラミンゴ、フンボルトペンギン、タンチョウ、オシドリ、ニホンカモシカ(5月)
- マサイキリン、ベニイロフラミンゴ(6月)

切手の中の動物たち 中国の動物



ジャイアントパンダ



キンシコウ



トーホクトラ



シフゾウ



ウメハナジカ



ユキヒョウ



クロテン



ヨースコウカワイルカ



ターキン



ハクチョウ



トキ



ソデグロツル



ミミキシ



ヨースコウワニ



キンケイ

◆編集後記◆

今年も5人の新人職員が採用されました。只今、厳しさの中にやさしさが込められた先輩職員の指導を受けて、動物飼育の勉強の特訓中。金糸猴舎では、中国から来ている専門技術者と和気あいあい、ニーハオノ。コアラ舎でもオーストラリアの技術者とグッドモーニング。6月から7月にかけては、園内のあちこちで中国語、英語、日本語が飛び交って、飼育係の職員もサア大変。ご苦労様。

URBAN
RESORT
FAIR
KOBE'93
新しい都市魅力の創造

会期：平成5年4月▶9月



はばたき 第32号

平成4年7月20日発行

編集：神戸市立王子動物園
TEL. (078)861-5624

発行：(財)神戸王子動物園協会
TEL. (078)801-5711
神戸市灘区王子町3丁目1

印刷：梶原出版印刷合資会社